

科目名	キャリアデザインⅠ				
担当教員	馬場秀憲	実務授業の有無	○	授業形態	遠隔と対面
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	150
授業概要、目的、授業の進め方	1、学校やクラスを知り、新しい環境に慣れる。 2、各コースの取り組みやクラス内で活動を通して友人をつくる。 3、各学期初めに目標を設定する 4、学期末に目標の振り返りを行う				
学習目標 (到達目標)	2年生に進級できる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	時間割・年間スケジュール・学生の手引き・スタディサプリ・その他レジュメ				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1～3	新入生オリエンテーション① 学校を知る	時間割・年間スケジュール・学生の手引きを使用。			
4～6	新入生オリエンテーション② 学校のルールを知る	時間割・年間スケジュール・学生の手引きを使用。			
7	英語レベルチェック	現在の英語のレベルと知る			
8～10	パソコンの設定 (Zoom、メールなど)	学校幹旋が自身でパソコンを購入する			
11～12	新入生オリエンテーション③ クラスを知る	時間割・年間スケジュール・学生の手引きを使用。			
13～14	新入生オリエンテーション④ 不安を解消する	クラス交流			
15～16	クラスホームルーム 自己発見検査 学生証登録	時間割・年間スケジュール・学生の手引きを使用。			
17～18	クラスホームルーム 時間割の見方やスケジュールについて	時間割・年間スケジュール・学生の手引きを使用。			
19～20	クラスホームルーム クラス内で話せる友人を増やす	クラス交流			
21～26	前期目標設定	パソコンで作成。			
27～28	2年生との交流で、相談できる環境をつくる	オンラインZoomを使用。			
29～34	個人面談+課題 (レポート作成)	パソコンで作成。			
35～36	インターンシップ身だしなみについて	パソコンを使用。			
37～40	海外研修旅行 行先別顔合わせ	パソコンを使用。			
41～42	健康診断	パソコンを使用。			
43～46	学年交流 妙高研修旅行 説明	レジュメ作成。			
47～52	妙高研修旅行 当日	レジュメ作成。			
53	バス旅行 振り返り	レポート提出。			
54～55	NSG大運動会について 説明	レジュメを使用。			
56～61	NSG大運動会 本番	レジュメを使用。			
62～63	センスアップテスト	レジュメを使用。			
64～65	夏休みの過ごし方・夏休み後のスケジュールについて	時間割・年間スケジュール・学生の手引きを使用。			
66～68	前期振り返り～後期のスケジュールについて	時間割・年間スケジュール・学生の手引きを使用。			
69～72	後期目標設定	パソコンで作成。			
73～78	個人面談+課題 (進級制作発表会準備)	オンラインZoomを使用。			
79～84	ブレ求職登録面接準備	レジュメを使用。			
85～90	ブレ求職登録面接	レジュメを使用。			
91～94	年明け時間割・スケジュールについて	時間割・年間スケジュール・学生の手引きを使用。			
95～107	求職登録面接準備	レジュメを使用。			
108～115	求職登録面接①	レジュメを使用。			
116～123	求職登録面接②	レジュメを使用。			
124～131	求職登録面接③	レジュメを使用。			
132～141	グループディスカッション練習	レジュメを使用。			
142～147	グループ面接練習	レジュメを使用。			
148	1年間振り返り	レポート提出。			
149～150	修了式	補講や追試があれば消化しておく。			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
授業態度・出席率100% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		スケジュール感覚と目的意識を持って、積極的に取り組んでください。			
実務経験教員の経歴	葬祭ディレクターとして現場に8年間携わった				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	就職対策				
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	全科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	70
授業概要、目的、授業の進め方	就職活動の流れや必要な事柄について理解し、個人で準備ができるように指導する 1. 就職活動の流れ 2. 自己分析 3. 企業研究 4. 書類・面接について				
学習目標 (到達目標)	自分の人生スケジュールを考えながら、就職活動に向かうことができる				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	勝つための就職ガイド Success				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1 2	就職活動の心構え 就職活動の流れ	テキスト P.6～			
3 4	履歴書・エントリーシートの書き方	テキスト P.14～			
5～8	動画履歴書作成	テキスト P.18～			
9 10	自己分析 自分自身を知る	テキスト P.27～			
11 12	職業を知る 自己分析				
13～18	論理的文章の書き方・考え方				
19 20	情報収集・企業研究				
21～23	情報収集のポイント	テキスト P.36～			
24～30	面接指導 自己分析 自己PR	テキスト P.52～			
31～35	面接練習 ・ 企業研究 ・ サイトの活用	テキスト P.66～			
36～50	就職研修 履歴書の写真撮影など				
51～55	研修振り返り・企業研究				
55～60	就職研修(1月)・求職登録面接				
61～70	就職研修(2月)・求職登録面接				
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
学習意欲50% 出席50% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		専門用語が多いため、分かりやすく説明することに加えて、プリント類の配布やサイトを活用して理解を定着させるように指導する。			
実務経験教員の経歴	外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	実践行動学Ⅰ				
担当教員	馬場 秀憲	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	全科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	15
授業概要、目的、授業の進め方	意欲的な心構え・自分自身の可能性を導き出す為の為に、体験→気付き→認識→一般化→応用という手法をとりいれ、個人作業・ディスカッションなどを通じて理解を深める				
学習目標 (到達目標)	半年毎の目標を設定させ、目標の実現を目指す為の思考力を学ぶ				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	実践行動学研究所 実践行動学				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	パート1 マジックドア1 夢と目標		個人作業・グループディスカッション		
2	パート1 マジックドア2 間違っただ思い込みと言ひ訳		個人作業・グループディスカッション		
3,4	パート1 マジックドア3 自分への信頼を取り戻すために①		個人作業・グループディスカッション		
5,6	パート1 マジックドア4 自分への信頼を取り戻すために②		個人作業・グループディスカッション		
7	パート1 マジックドア5 目標を設定しよう		個人作業・グループディスカッション		
8	パート2 マジックドア1 プラス思考が能力・可能性を広げる		個人作業・グループディスカッション		
9、10	パート2 マジックドア2 考え方を換えれば行動が変わる		個人作業・グループディスカッション		
11、12	パート2 マジックドア3 あなたの問題はあなたが解決する		個人作業・グループディスカッション		
13,14	パート2 マジックドア4 コミュニケーションスタイルを見直そう		個人作業・グループディスカッション		
15	パート2 マジックドア5 目標が才能・可能性を开花させる		個人作業・グループディスカッション		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率80% 授業態度20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			明確な目標設定を行なわせ、常に向上心を持たせられるよう 留意する。		
実務経験教員の経歴	葬祭ディレクターとして現場に8年間携わった。				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名		コミュニケーション			
担当教員	古田千晶	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	全科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	30
授業概要、目的、授業の進め方	1. 社会においてコミュニケーションの大切を知る 2. あらゆる場面でよりスムーズなコミュニケーションをとるための技術を身に付ける				
学習目標 (到達目標)	コミュニケーション初級検定取得を目指す				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ウィネット コミュニケーション技法・コミュニケーション検定 公式ガイドブック				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	コミュニケーション技法 ・行動をチェックする ・効果的な自己紹介の方法	講義 グループディスカッション			
2	コミュニケーション定義				
3	コミュニケーション技法 ・コミュニケーションの基本を身に付けよう	講義 グループディスカッション			
4	公式ガイドブック ・聞く力	講義 チェック問題を解答→解説			
5 6	公式ガイドブック ・話す力	講義 チェック問題を解答→解説			
7 8	公式ガイドブック ・来客応対 ・電話応対 ・アポイントメント 訪問 挨拶	講義 チェック問題を解答→解説			
9 10	公式ガイドブック ・接客営業 ・クレーム対応 会議 取材 ヒアリング ・面接	講義 チェック問題を解答→解説			
11 12	模擬問題練習	チェック問題を解答→解説			
13 14	過去問題 1	問題を解答→解説→苦手箇所の認識→学習			
15 16	過去問題 2	問題を解答→解説→苦手箇所の認識→学習			
17 18	過去問題 3	問題を解答→解説→苦手箇所の認識→学習			
19 20	不得意箇所の克服	過去問 1・2・3の苦手問題を再トライ			
21~24	過去問題 4	検定を想定して、マークシートにより問題を解く			
25~28	過去問題 5	検定を想定して、マークシートにより問題を解く			
29、30	不得意箇所の克服	過去問4.5の苦手問題を再トライ			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
過去問題テスト80%、 授業態度20%		全員の検定合格を目指すため、復習に力を入れること。また、わからない内容は友人同士で共有し、解決できるように図らう。			
成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	ウエディングプランナーとして6年間勤務				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名		ホスピタリエ			
担当教員	高橋香織	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	全科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	25
授業概要、目的、授業の進め方	1.ホスピタリエ資格取得をし、ホスピタリティを広めることができる人材になる				
学習目標 (到達目標)	日常生活の中にホスピタリエの視点を自然にとりいれられるようにする。 社会の課題をホスピタリティの視点で見つめ、自分の考えを持つ思考習慣を身に着ける。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	筆記用具				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1～5	ホスピタリエ認定講座	パワーポイント・テキスト			
6	ホスピタリエが学ぶホスピタリティ	パワーポイント			
7	ごきげんなホスピタリエになるために必要な5つの資質	パワーポイント			
8	ホスピタリエのコミュニケーション習慣	パワーポイント			
9	ホスピタリエの共感力を磨こう！	パワーポイント			
10	ホスピタリエが家族に一番近い他人になるために	パワーポイント			
11	ホスピタリエのホスピタリエ紹介	パワーポイント			
12	ホスピタリエの学校生活とファーストステップ	パワーポイント			
13	起きてから寝るまでのファーストステップ	パワーポイント			
14	ホスピタリエの5つの資質の再チェック	パワーポイント			
15	ホスピタリエの共感レポート	パワーポイント			
16	自分のイヤ 自分以外のイヤ	パワーポイント			
17	料飲ビジネスとホスピタリティ	パワーポイント			
18	ホテルビジネスとホスピタリティ	パワーポイント			
19	ウェディングビジネスとホスピタリティ	パワーポイント			
20	フューネラルビジネスとホスピタリティ	パワーポイント			
21	医療ビジネスとホスピタリティ	パワーポイント			
22	航空ビジネスとホスピタリティ	パワーポイント			
23	ホスピタリエが考えるホスピタリティ産業	パワーポイント			
24	ホスピタリエの共感レポート	パワーポイント			
25	学校生活の中でホスピタリエの学びが役立った事例レポート	パワーポイント			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
出席率80%、授業姿勢20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		積極的な意見交換をする。 ホスピタリティを定着させる。			
実務経験教員の経歴	ドレススタイリストとして現場に10年間携わった。				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	ソフトウェア活用実習Ⅰ				
担当教員	武田奈々	実務授業の有無	×	授業形態	対面と遠隔
対象学科	全科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	30
授業概要、目的、授業の進め方	ビジネス文書作成、プレゼンテーション等に必要なパソコンスキルを学び、word検定に合格する				
学習目標 (到達目標)	サーティファイ ワード文書処理能力検定3級 合格				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	サーティファイ WORD2019クイックマスター基本編 ワード文書処理能力検定3級問題集				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	テキスト～36pまで		実習		
2 3	文書の編集		実習		
4 5 6	文書の印刷 文書の作成		実習		
7 8 9	表を使った文書の作成		実習		
10 11 12	図形や画像を使った文書の作成		実習		
13 14	検定対策 問題集 練習問題 1・2		実習		
15 16	検定対策 問題集 練習問題 3 模擬問題1		実習		
17 18	検定対策 問題集 模擬問題 2・3		実習		
19 20	検定対策 問題集 模擬問題 4・5		実習		
21 22	検定対策 問題集 模擬問題 6・7		実習		
23 24	サンプル問題		実習		
25	ワード文書検定3級 受検				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率70% 学習意欲10% 検定合格20%					
成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			問題集をクリアすることで、検定合格率がアップすることから、学生のモチベーションをキープさせ、必ず終了するように考慮する。		
実務経験教員の経歴	バンケットキャプテン・アテンダント・音響・司会業務に13年関わる				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	ソフトウェア活用実習Ⅱ				
担当教員	武田奈々	実務授業の有無	×	授業形態	対面と遠隔
対象学科	全科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	10
授業概要、目的、授業の進め方	ビジネス文書作成、プレゼンテーション等に必要なパソコンスキルを学習する。				
学習目標 (到達目標)	パワーポイントの基本的操作を習得する。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	プリント対応				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1 2	パワーポイントの基本操作 プレゼンテーションの作成		実習		
3 4	文字やスライドの編集 オブジェクトの作成		実習		
5～8	表やグラフの作成 表示効果とハイパーリンク		実習		
9 1 0	スライドショーの実行 プレゼンテーションカスタマイズ		実習		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率70% 学習意欲30% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			任意検定のパワーポイント検定初級を受検が可能である。モチベーションの高い学生とそうでない学生の温度差が出ないように配慮する。		
実務経験教員の経歴	バンケットキャプテン・アテンダント・音響・司会業務に13年関わる				

科目名		日常英会話Ⅰ			
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	全科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	必須	単位数		時間数	25
授業概要、目的、授業の進め方	<p>スタディサプリEnglishを利用し、自主学習でついた英語力を全体授業で確認していきます。 お客様とのコミュニケーションに英語は欠かせないため、英語力を強化します。 英語の問題を解くだけでなく、発話する力をつけるため一人ひとりの発話チェックの時間をもうけています。毎回、単語テストを行い習得状況を把握します。</p>				
学習目標 (到達目標)	英語での会話に緊張せず対応できる。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	スタディサプリEnglish				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1.2	オリエンテーション Unit1	スタディサプリEnglish・ロールプレイ・単語テスト			
3	Unit1 Lesson5 トレーニング1・2・4				
4	Unit2 Lesson10 トレーニング1・2・4				
5	Unit3 Lesson15 トレーニング1・2・4				
6	Unit4 Lesson20 トレーニング1・2・4				
7	Unit5 Lesson25 トレーニング1・2・4				
8	Unit6 Lesson30 トレーニング1・2・4				
9	Unit7 Lesson35 トレーニング1・2・4				
10	Unit8 Lesson40 トレーニング1・2・4				
11	テスト練習				
12・13	テスト				
14	振り返り				
15	Unit9 Lesson45 トレーニング1・2・4				
16	Unit10 Lesson50 トレーニング1・2・4				
17	Unit11 Lesson55 トレーニング1・2・4				
18	Unit12 Lesson60 トレーニング1・2・4				
19	Unit13 Lesson65 トレーニング1・2・4				
20	Unit14 Lesson70 トレーニング1・2・4				
21	Unit15 Lesson75 トレーニング1・2・4				
22	Unit16 Lesson80 トレーニング1・2・4				
23	テスト練習				
24	テスト				
25	振り返り				
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
授業態度40% 試験60% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		アプリを中心に学び、単語テストも適宜行う。			
実務経験教員の経歴	外資系ホテル勤務経験あり、英語講師経験あり				

科目名	葬儀概論Ⅰ				
担当教員	馬場秀憲	実務授業の有無	○	授業形態	遠隔と対面
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	1年生	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	170
授業概要、目的、授業の進め方	1、葬儀の一般的な流れを学ぶ。 2、葬祭業界を取り巻く社会環境を学ぶ。 葬祭業界の職種や業務内容を学ぶ。 4、宗教ごとの葬送儀礼を学ぶ。				
学習目標 (到達目標)	確認テストで合格する				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	増補四訂葬儀概論ほかレジュメを使用				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1～2	オリエンテーション (授業の目的を知る)	自己紹介			
3～6	業界を取り巻く環境 (高齢化、企業の取り組み) について学ぶ	レジュメ作成			
7～10	葬儀の業態を知る	レジュメ作成			
11～14	「業界が求める人」を学ぶ	葬儀社員より講義 (非常勤)			
15～18	新潟県と県外の風習を知る	レジュメ作成			
19～22	関連企業について知る	レジュメ作成			
23～26	業界の職種について知る	レジュメ作成			
27～30	業界で働くということを知る	オンラインZoomを使用し、卒業生との座談会を行う			
31～34	葬儀の流れを知る 最終～遺体の搬送	葬儀概論 P102～P108			
35～38	葬儀の流れを知る 遺体安置～枕経	葬儀概論 P107～P109 P115～P117			
39～42	葬儀の流れを知る 死亡届・死亡診断書～火葬場予約	葬儀概論 P100～P101			
43～46	葬儀の流れを知る 通夜・葬儀の打ち合わせ	葬儀概論 P109～P115			
47～50	葬儀の流れを知る 死亡広告・弔辞	葬儀概論 P164～P166			
51～54	葬儀の流れを知る 設営・飾り付け	葬儀概論 P125～P131			
55～58	葬儀の流れを知る 納棺の仕方	葬儀概論 P118～P124			
59～62	葬儀の流れを知る 飲食について	葬儀概論 P134 P147～P148			
63～66	葬儀の流れを知る 通夜式とは	葬儀概論 P132～P135			
67～70	葬儀の流れを知る 葬儀・告別式	葬儀概論 P135～P144			
71～74	葬儀の流れを知る 出棺～火葬収骨	葬儀概論 P144～P148			
75～78	葬儀の流れを知る 法要・納骨	葬儀概論 P149 P154～158			
79～82	葬儀の流れを知る 宗教・法則について	葬儀概論 P186～P193			
83～84	確認テスト	テストを作成。			
85～86	インターンシップについて目的説明	レジュメを使用。			
87～90	インターンシップの行先調べ (企業調べ)	授業の裏で個別面談			
91～94	インターンシップ履歴書作成	履歴書作成～添削する			
95～98	インターンシップ先企業紹介 パワポ作成	パソコンを使用。			
99～100	インターンシップ企業発表	パワーポイントで発表する。			
101～102	インターンシップ振り返り	レポート提出。			
103～106	葬儀の歴史を知る (仏教、火葬、お墓の歴史)	レジュメ及び調べ学習			
107～110	葬儀の風習を知る (香典、戒名の歴史)	レジュメ及び調べ学習			
111～114	葬儀の風習を知る (神葬、精進落しなど地域の風習)	レジュメ及び調べ学習			
115～118	葬儀の風習を知る (枕経、納棺の作法)	レジュメ及び調べ学習			
119～122	葬儀の風習を知る (仏教以外・神道、キリスト教)	レジュメ及び調べ学習			
123～126	お墓について (墓地、墓石、墓参り)	レジュメ及び調べ学習			
127～130	お墓について (数珠、樹木葬)	レジュメ及び調べ学習			
131～134	葬儀の参列マナー (服装、持ち物)	レジュメ及び調べ学習			
135～138	葬儀の参列マナー (お葬式の作法)	レジュメ及び調べ学習			
139～142	インターンシップの行先調べ (企業調べ)	パソコンを使用。			
143～146	インターンシップ履歴書作成	履歴書作成～添削する			
147～150	インターンシップ先企業紹介 パワポ作成	パソコンを使用。			
151～152	インターンシップ企業発表	パワーポイントで発表する。			
153～154	インターンシップ振り返り	レポート提出。			
155～157	宗教儀礼を学ぶ 神葬祭・天台宗・真言宗	葬儀概論 P263～P272			
158～160	宗教儀礼を学ぶ 浄土宗・浄土真宗	葬儀概論 P273～P281			
161～163	宗教儀礼を学ぶ 臨済宗・曹洞宗・日蓮宗	葬儀概論 P282～P289			
164～166	宗教儀礼を学ぶ カトリック・プロテスタント	葬儀概論 P290～P298			
167～169	宗教儀礼を学ぶ 天理教・金光教・友人葬	葬儀概論 P299～P304			
170	確認テスト				
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
授業態度・出席率80%、確認テスト20% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		インターンシップに行く前に、葬儀の流れを身につけておくこと。 インターンシップ先での経験はレポートなどにまとめ、後日発表できるようにすること。			
実務経験教員の経歴	葬祭ディレクターとして現場に8年間携わった。				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	葬儀実務				
担当教員	馬場秀憲	実務授業の有無	○	授業形態	対面のみ
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	1年生	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	40
授業概要、目的、授業の進め方	1. 実習を通して遺体の搬送や電話応対、納棺や着せ替え、葬儀の司会などの技術を身につける。				
学習目標 (到達目標)	確認テストに合格する				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	増補四訂葬儀概論ほかレジュメを使用。				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1 2	オリエンテーション～授業の目的を知る	レジュメを使用。			
3 4	電話応対を学ぶ	レジュメを使用。			
5 6	遺体の搬送について学ぶ	搬送の実習を行う			
7 8	遺体の安置、夜間の宿直業務を学ぶ	遺体の安置実習を行う			
9 10	葬儀の相談内容を学ぶ	相談内容をテキストなどで知る			
11 12	自宅飾り(祭壇設営、門パイ出し、床の間飾り、神棚封じ)を知る	自宅飾りの道具を画像などで知る			
13 14	自宅迎え(自宅から式場への搬送)を学ぶ	レジュメにて業務のポイントを知る			
15~20	納棺着せ替え実習	納棺時の着せ替えを実習で覚える			
21~24	幕張実習	検定の幕張課題のやり方を覚える			
25~28	葬儀の司会実習	実際の葬儀に使用する台本で司会の話し方を覚える			
29~32	接遇・司会実習	検定の接遇・司会実習のやり方を学ぶ			
33~38	検定課題幕張を8分以内でできるようになる	自分の目標タイムを設定する			
39~40	確認テスト				
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
テスト80%、出欠席20% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		インターンシップ前に葬儀の業務を経験することで、受け身の研修ではなく、自ら積極的に関わられるようにする。			
実務経験教員の経歴	葬祭ディレクターとして現場に8年間携わった。				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名		手話Ⅰ			
担当教員	NPO法人にいま～る	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	1年生	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	20
授業概要、目的、授業の進め方	1、手話の基本を学ぶ。 2、思いやりの気持ちを育む				
学習目標 (到達目標)	手話で自己紹介ができるようになる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ゼロから分かる手話入門				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1 2	自己紹介				
3 4	指文字「あ行～な行」		テキストと動画を使用。		
5 6	指文字「は行～和行」		テキストと動画を使用。		
7 8	挨拶の単語を学ぶ		テキストと動画を使用。		
9 10	地名の単語・食べ物単語を学ぶ		テキストと動画を使用。		
11 12	都道府県名、代表的な都市名を学ぶ		テキストと動画を使用。		
13 14	過去と未来の単語、会話を学ぶ		テキストと動画を使用。		
15 16	性格・趣味の単語を学ぶ		テキストと動画を使用。		
17 18	確認テスト		テキストと動画を使用。		
19 20	振り返り		テキストと動画を使用。		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
授業態度80% 確認テスト20%			授業で学んだことを私生活でも生かせるように、積極的に取り組んでください。		
成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	手話教室と聴覚障害者の就労自立支援を10年以上行っている				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	葬祭フラワーⅠ				
担当教員	坂上久美子	実務授業の有無	○	授業形態	対面のみ
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	1年生	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	10
授業概要、目的、授業の進め方	1、フラワーアレンジメントの基礎知識を学び、墓花や仏花の作成を実践で学ぶ。				
学習目標 (到達目標)	枕花（フラワーアレンジメント）を作成する				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	授業で使用する生花を手配する（予算を決めておく）				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1～4	墓花・仏花を作成してみる	実習で学ぶ。			
5～8	遺影写真脇の生花のアレンジを作成してみる	実習で学ぶ。			
9～10	枕花（フラワーアレンジメント）を作成する	実習で学ぶ。			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
授業態度100% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		生花の扱い方に慣れる。			
生花店を経営して15年以上携わっている					

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	グリーフケアⅠ				
担当教員	小林伸子	実務授業の有無	○	授業形態	対面のみ
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	1年生	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数		時間数	10
授業概要、目的、授業の進め方	1、グリーフとはどういうものかを知る 2、死を迎えるまでの本人や家族の心理を知る。				
学習目標 (到達目標)	グリーフに関する知識を身につける				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	レジュメを使用。				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1 2	オリエンテーション～「グリーフ」とは何かを学ぶ	レジュメを使用。			
3 4	病院でのエンゼルケア～看取りについて学ぶ	レジュメを使用。			
5 6	グリーフがもたらす身体的な影響について学ぶ	レジュメを使用。			
7 8	グリーフとの具体的な向き合い方について学ぶ	レジュメを使用。			
9 10	最終レポート作成	レジュメを使用。			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
授業態度50% 最終レポート50%		授業の目的を理解し、自分だったらと想像しながら取り組んでください。			
成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	看護師としてホスピスにて20年間勤務				

心理学（こころ検定）					
科目名	心理学（こころ検定）				
担当教員	馬場秀憲	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	1年生	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数		時間数	60
授業概要、目的、授業の進め方	1、心理学の基本的知識を学ぶ。 2、自分の気持ちに向き合う				
学習目標（到達目標）	こころ検定4級に合格する				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	こころ検定4級公式テキスト				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	オリエンテーション～検定について知る		テキストとパワーポイントを使用。		
2	第1章 学習心理学 「学習」「行動」「反応」とは		テキストとパワーポイントを使用。		
3	第1章 学習心理学 「レスポナント行動」「オペラント行動」		テキストとパワーポイントを使用。		
4	第1章 学習心理学 「バプロフの犬の実験について」「条件づけ」「消去抵抗」		テキストとパワーポイントを使用。		
5	第1章 学習心理学 「クレスビ効果」「プラトー」「ウォーミングアップ効果」		テキストとパワーポイントを使用。		
6	第1章 学習心理学 「結果の知識」「分散効果」「集中練習」		テキストとパワーポイントを使用。		
7	第1章 学習心理学 「即時確認の原理」「迷信行動」「応用行動分析」		テキストとパワーポイントを使用。		
8	第2章 認知心理学 「人のこころの流れについて」		テキストとパワーポイントを使用。		
9	第2章 認知心理学 「相貌失認」「人の物事の捉え方や考え方の偏り」		テキストとパワーポイントを使用。		
10	第2章 認知心理学 「記憶について」		テキストとパワーポイントを使用。		
11	第2章 認知心理学 「初頭効果」「新近効果」など様々な効果		テキストとパワーポイントを使用。		
12	第2章 認知心理学 「記憶に関する様々な現象について」		テキストとパワーポイントを使用。		
13	第2章 認知心理学 「アルゴリズム」「ヒューリスティクス」「アンカリング」		テキストとパワーポイントを使用。		
14	第2章 認知心理学 「時間」の認識について		テキストとパワーポイントを使用。		
15	第3章 生理心理学 「生理心理学とは」		テキストとパワーポイントを使用。		
16	第3章 生理心理学 「神経伝達物質」		テキストとパワーポイントを使用。		
17	第3章 生理心理学 「脳波の種類」		テキストとパワーポイントを使用。		
18	第3章 生理心理学 「ポリグラフ検査」		テキストとパワーポイントを使用。		
19	第3章 生理心理学 「ストレス」		テキストとパワーポイントを使用。		
20	第4章 知覚心理学 「知覚心理学とは」		テキストとパワーポイントを使用。		
21	第4章 知覚心理学 「両眼手がかり」「単眼手がかり」		テキストとパワーポイントを使用。		
22	第4章 知覚心理学 「錯視」		テキストとパワーポイントを使用。		
23	第4章 知覚心理学 「錯聴」		テキストとパワーポイントを使用。		
24	第4章 知覚心理学 「視聴覚統合」		テキストとパワーポイントを使用。		
25	第5章 社会心理学 「社会心理学とは」		テキストとパワーポイントを使用。		
26	第5章 社会心理学 「どうして他者が気になるのか？」		テキストとパワーポイントを使用。		
27	第5章 社会心理学 「対人魅力」		テキストとパワーポイントを使用。		
28	第5章 社会心理学 「コミュニケーションと効果」		テキストとパワーポイントを使用。		
29	第5章 社会心理学 「個人と集団の心理の違い」		テキストとパワーポイントを使用。		
30	第6章 感情心理学 「感情心理学とは」		テキストとパワーポイントを使用。		
31	第6章 感情心理学 「ネガティブな感情」「ポジティブな感情」		テキストとパワーポイントを使用。		
32	第6章 感情心理学 「感情理論」		テキストとパワーポイントを使用。		
33	第6章 感情心理学 「感情と行動について」		テキストとパワーポイントを使用。		
34	第6章 感情心理学 「気持ちを測定する」		テキストとパワーポイントを使用。		
35	第6章 感情心理学 「内発的動機づけ」「外発的動機づけ」		テキストとパワーポイントを使用。		
36	第7章 知能 「知能とは」		テキストとパワーポイントを使用。		
37	第7章 知能 「知能の構造」		テキストとパワーポイントを使用。		
38	第7章 知能 「社会的知能」「知性」		テキストとパワーポイントを使用。		
39	第7章 知能 「人間と動物の知能」		テキストとパワーポイントを使用。		
40	第7章 知能 「知能の測定」		テキストとパワーポイントを使用。		
41～60	検定対策 問題の取り組み		過去問題・オリジナル問題を使用。		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
授業態度20%、確認テスト80%			試験範囲が広いので、自分で復習・予習しながら取り組むこと。		
成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	葬祭ディレクターとして現場で8年以上携わっている				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名		イベントプロデュースⅠ			
担当教員	馬場秀憲	実務授業の有無	○	授業形態	遠隔と対面
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	1年生	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	80
授業概要、目的、授業の進め方	1、お別れ会プラン企画発表会を通じて、自分たちが学んだことを形にして他者から評価を受ける。 2、模擬葬儀イベントを通じてチームワークを身につける。 3、企業連携により、社会に関わる意識を育てる。 4、成長した姿を保護者に見てもらい、就職活動を応援してもらう。				
学習目標 (到達目標)	1. 在校生や保護者に向けて、学んだことを披露する 2. 企業・業界に向けて自分たちの考えを表現し、業界に関わる意識を育てる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	増補四訂葬儀概論				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1～2	オリエンテーション～イベント内容を知る		時間割や年間スケジュールを使用。		
3～6	お別れ会プランの企画を考える		パソコンで調べ学習。		
7～12	発表台本・PP作成		パソコンで作成。		
13～15	お別れ会プラン企画発表会		本番を想定して、身だしなみを整える。		
16～17	イベント振り返り		レポート提出。		
18～21	「お寺でゴーン」準備		選抜メンバーだけでなく全員で協力する。		
22～26	「お寺でゴーン」リハーサル		本番を想定してリハーサル		
27～30	「お寺でゴーン」本番		本番を想定して、身だしなみを整える。		
31～32	「お寺でゴーン」振り返り		レポート提出。		
33～36	模擬葬儀準備（個人設定、役割決め）		チームで1つの葬儀をつくる。		
37～44	模擬葬儀リハーサル		企業に見てもらうため、身だしなみや話し方にも気を配る。		
45～48	模擬葬儀本番		企業で実施予定。		
49～50	イベント振り返り		レポート提出。		
51～55	秋フェス準備		2年生と協力して、内容決める。		
56～61	秋フェス本番		不測の事態を予想しながら取り組む。		
62～63	イベント振り返り		レポート提出。		
64～67	進級制作発表会の目的・テーマ決め		進級制作テーマを決める。		
68～72	台本・PP作成		業界専門用語を分かりやすい表現にする。		
73～76	進級制作発表会リハーサル		本番を想定してリハーサルを行う。		
77～78	進級制作発表会本番		保護者向け発表会。		
79～80	振り返り		レポート提出。		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
授業態度100% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			自分自身の成長やスキルアップにつなげるために、いろんな役割にチャレンジしてください。		
実務経験教員の経歴	葬祭ディレクターとして8年間現場に携わった				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	インターンシップ研修（葬祭）				
担当教員	馬場秀憲	実務授業の有無	○	授業形態	対面のみ
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	1年生	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	70
授業概要、目的、授業の進め方	1. 会社で働くということを学ぶ 2. 仕事のやりがいなどを聞き、目指す姿を見つける 3. 葬儀社の働き方を知る				
学習目標 (到達目標)	インターンシップ企業からの評価をもらう				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	増補四訂葬儀概論 ほか				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1~4	オリエンテーション・企業内見学	身嗜みや言葉遣いに注意。学生ではなく社会人としての意識を持つ。			
5~8	OJTによる業務体験（式場準備）	受入企業の意向に合わせて、内容は変更可能。			
9~12	OJTによる業務体験（ご遺体搬送）	受入企業の意向に合わせて、内容は変更可能。			
13~16	OJTによる業務体験（電話対応）	受入企業の意向に合わせて、内容は変更可能。			
17~20	OJTによる業務体験（ご遺体安置）	受入企業の意向に合わせて、内容は変更可能。			
21~24	OJTによる業務体験（役所への手続き書類作成）	受入企業の意向に合わせて、内容は変更可能。			
25~28	OJTによる業務体験（納棺）	受入企業の意向に合わせて、内容は変更可能。			
29~32	OJTによる業務体験（通夜立ち合い）	受入企業の意向に合わせて、内容は変更可能。			
33~36	OJTによる業務体験（葬儀立ち合い）	受入企業の意向に合わせて、内容は変更可能。			
37~40	OJTによる業務体験（火葬場同行）	受入企業の意向に合わせて、内容は変更可能。			
41~44	OJTによる業務体験（司会業務）	受入企業の意向に合わせて、内容は変更可能。			
45~48	OJTによる業務体験（自宅飾り）	受入企業の意向に合わせて、内容は変更可能。			
49~52	OJTによる業務体験（受注業務）	受入企業の意向に合わせて、内容は変更可能。			
53~56	OJTによる業務体験（業者への商品発注など）	受入企業の意向に合わせて、内容は変更可能。			
57~60	OJTによる業務体験（請求書など葬儀後のフォロー）	受入企業の意向に合わせて、内容は変更可能。			
61~64	OJTによる業務体験（年忌法要）	受入企業の意向に合わせて、内容は変更可能。			
65~68	OJTによる業務体験（飲食業務補助）	受入企業の意向に合わせて、内容は変更可能。			
69~70	学んだことを整理して振り返り	パソコンで作成。			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
勤務態度100% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		ご遺族と関わることもあるため、リクルースタイルで勤務する。 OJTで社員について学ぶので、メモを持ち歩く。			
実務経験教員の経歴	葬祭ディレクターとして現場に8年間携わった。				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名		料飲サービス実務			
担当教員	渡邊 恵	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ウエディング科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	選択	単位数		時間数	10
授業概要、目的、授業の進め方	ホテルの料飲部門に必要な知識を座学形式で身につける。 実際の機材などを確認しながら、目から入る情報も大切にします。				
学習目標 (到達目標)	基本的な料飲部門の知識を身につける（什器、食器、備品類、西洋料理、朝食、日本料理、中国料理の基礎知識）				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ホテルテキスト 料飲Ⅰ レストラン・宴会編				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	I	第1章 料飲部門の概要	ホテルの料飲部門を知る		
2	I	第1章 料飲部門の概要	ホテルレストランの種類、宴会の種類を知る		
3	I	第2章 什器・食器・備品類の知識	銀食器の種類を学ぶ		
4	I	第2章 什器・食器・備品類の知識	銀食器の種類を学ぶ、陶磁器の種類を学ぶ		
5	I	第2章 什器・食器・備品類の知識	ガラス食器の種類を学ぶ、リネン類、ワゴン類を学ぶ		
6	I	第4章 西洋料理の基礎知識	フランス料理のフルコースの概要を学ぶ		
7	I	第4章 西洋料理の基礎知識	フランス料理のフルコースを概要を学ぶ		
8	I	第5章 朝食の基礎知識	朝食の料理内容やアメリカンブレイクファーストやコンチネンタルブレイクファースト等を学ぶ		
9	I	第6章 日本料理・中国料理の基礎知識	日本料理の種類や作法、中国料理の種類や作法を学ぶ		
10		確認テスト			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
定期テスト50%、出席率30%、学習意欲（授業態度）20%		基本的な知識を身につけることは大切です。基本的な備品の名前や西洋料理、朝食、日本料理、中国料理を学ぶことで料飲の世界の奥深さや魅力も知ってほしいと考えています。また、知識を身につけることでお客様へのご案内に自信が付き、接客時にお客様へお伝えすることができます。			
成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・F(59点以下)とする。※F評価者は追試合格後、D評価となる。					
実務経験教員の経歴	客船乗務員（サービス全般）に6年間携わった				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	ホテル概論（初級編）				
担当教員	鈴木 敬一郎	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	5
授業概要、目的、授業の進め方	ホテルや宿泊産業の概要、観光産業の中の位置付けを理解する。ホテルの種類や形態、その組織及び代表的な職種とその業務内容を体系的に学び、業務の基礎知識も身につけて行く。そして、ホテルスタッフに求められる資質や心構えも理解し、この後に続く就職活動・進路選択に役立てて行く。				
学習目標 (到達目標)	1.ホテル業界の概要、ホテルの種類、及び各部門の代表的な職種・業務内容の把握と基礎知識の習得。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	プリント教材（適宜、レジュメ資料を配布）				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	ホテル業界を取り巻く環境・現況	レジュメ資料を配布し、重点ポイントを説明			
2	ホテルの種類・形態				
3	ホテルの職種・職務内容				
4	ホテルの形態 / ホテルの種類・組織・職種				
5	代表的なホテル 事例紹介	↓			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
出席(ミニ課題含む) 40点 授業態度 10点 中間試験 20点, 期末試験 30点 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		ホテルスタッフに求められる資質や心構えも理解し、その後に続くインターンや就職活動・進路選択に役立てていく。			
実務経験教員の経歴	ホテル（宿泊部門、料飲部門）にて計7年間勤務した。				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	ブライダルスタンダード				
担当教員	武田奈々	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	全科	対象学年	1年	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	5
授業概要、目的、授業の進め方	1、ブライダルの由来について理解する 2、ディスカッションにて意見を出し合う				
学習目標 (到達目標)	一般教養として結婚式・披露宴を学ぶ(結婚式に招待されたときなど)				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ノートのみ				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	結婚式にまつわる意味や由来について		パワポで説明。ディスカッション。		
2	披露宴の演出について		パワポで説明。ディスカッション。		
3	披露宴の演出について		パワポで説明。ディスカッション。		
4	披露宴の演出について		パワポで説明。ディスカッション。		
5	結婚式に招待された場合のポイント説明		パワポで説明。ディスカッション。		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出欠席100% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			グループディスカッションを通して、自分の考えを持ち人に述べる力を育てる。ブライダルにおける一般常識を学ぶ		
実務経験教員の経歴	バンケットキャプテン・アテンダント・音響・司会業務に13年関わる				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名		センスアップセミナー			
担当教員	武田奈々	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	全科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	15
授業概要、目的、授業の進め方	業界に必要なセンスアップを実習をとおして習得する				
学習目標 (到達目標)	印象の良いヘアメイクを15分以内に来れるようになる。正しい姿勢で「歩く 立つ 座る」ができる。正しい発声・発音ができる。話し方ができるようになる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ウイネット コミュニケーション技法 プリント対応				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1 2	ヘアメイク:おしゃれと身だしなみの違い ヘアスタイル	ヘアメイク実習			
3 4	ヘア仕上がりチェック フルデモンストレーション 眉のみ練習	ヘアメイク実習			
5 6	メイク練習	ヘアメイク実習			
7 8	ヘアメイクを完璧に仕上げる	ヘアメイク実習			
9 10	歩き方:基本姿勢 表情 お辞儀の仕方	テキスト28・29Pを参考にしながら			
11 12	話し方:発声・活舌トレーニング	テキスト38~42p 50~52p			
13	発声・活舌トレーニング 敬語プリント	テキスト53~66p			
14 15	ビジネス会話 美しい日本語のフレーズ	テキスト67~68p			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
出席率80% 学習意欲20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		お客様に見られていることを常に意識できるように学習を重ねること。			
実務経験教員の経歴	バンケットキャプテン・アテンダント・音響・司会業務に13年関わる				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名		キャリアデザインII			
担当教員	馬場秀憲	実務授業の有無	○	授業形態	遠隔と対面
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	100
授業概要、目的、授業の進め方	1、各学期初めに目標を設定する 2、学期末に目標の振り返りを行う				
学習目標 (到達目標)	卒業できる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	時間割・年間スケジュール・学生の手引き・レジユメを使用。				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1～4	進級生オリエンテーション	時間割・年間スケジュール・学生の手引きを使用			
2～7	個人面談+就職活動	就職活動用のレジユメを準備。			
8～13	前期目標設定	パソコンで作成する。			
14～19	学校のルールを再確認する	学生の手引きを使用する。			
20～25	1年生との交流会	クラス委員長、副委員長が主体で準備する。			
26～29	コース内交流会	レジユメを使用。			
30～36	前期発表 内容決め	パソコンで作成する。			
37～42	NSG大運動会 準備	レジユメを使用。			
43～48	NSG大運動会 当日	レジユメを使用。			
49～52	夏休み後時間割・スケジュールについて	時間割・年間スケジュール・学生の手引きを使用			
53～58	前期発表 台本・PP準備	パソコンで作成する。			
59～64	前期発表の録画をして、編集する	パソコンで作成する。			
65～70	個人面談+就職活動もしくは課題	オンラインZoomを使用。課題はパソコンで作成。			
71～76	NSG秋フェス 準備	レジユメを使用。			
77～82	NSG秋フェス 本番	レジユメを使用。			
83～90	企業向け報告書作成	レジユメを使用。			
91～94	企業向け報告書を完成させて企業にメール送信する	パソコンで作成する。			
95～98	年明け時間割り・スケジュールについて	時間割・年間スケジュール・学生の手引きを使用			
99～100	2年間振り返り・修了式	レポート提出。			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
授業態度100% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		自分で時間管理やスケジュール管理を意識させながら、計画的に取り組むようにする。			
実務経験教員の経歴	葬祭ディレクターとして8年間現場に携わった				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	ビジネス実務Ⅰ				
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	全科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	35
授業概要、目的、授業の進め方	テキストを中心に文書の書き方を繰り返し学習する。PCを使って、実際の社内文書、社外文書、メール文書等を仕上げていく				
学習目標 (到達目標)	敬語、ビジネス用語と漢字、基礎ビジネス文書が書ける				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	ビジネス文書検定3級 ガイド				
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1～10	ガイド 第1章 表記技能			漢字、書式のテキスト内の問題を解く	
11～20	ガイド 第2章 表現技能			正確な文章、ねじれない文書内の問題を解く	
21～30	ガイド 第3章 実務技能			社外文書の例を探す／ロールプレイ	
31～35	過去問題、PCを使って文章を作成する				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
試験結果50% 出席50% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			専門用語やビジネスシーンで使う単語が多いため、分かりやすく説明することに加えて、プリント類の配布やサイトを活用して理解を定着させるように指導する。		
実務経験教員の経歴	外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	ビジネス実務II				
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	全科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	15
授業概要、目的、授業の進め方	一度学習したテキストを中心に文書の書き方を繰り返し学習する。PCを使って、実際の社内文書、社外文書、メール文書等を仕上げていく。新たに、即戦力として役に立つ日常ビジネスマナーを身に付ける。				
学習目標 (到達目標)	敬語、ビジネス用語と漢字、基礎ビジネス文書に加えて、電話応対、来客応対をロールプレイをしながら一人で判断して対応できるレベルにする。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	ビジネス文書検定3級 ガイド(復習) / 実践ビジネスマナー				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
12	ガイド 第1章 表記技能/実践ビジネスマナー 電話応対		漢字、書式のテキスト内の問題を解く/ロールプレイ		
34	ガイド 第1章 表記技能/実践ビジネスマナー 電話応対		漢字、書式のテキスト内の問題を解く/ロールプレイ		
56	ガイド 第2章 表現技能/実践ビジネスマナー 電話応対		正確な文章、ねじれない文書内の問題を解く		
78	ガイド 第2章 表現技能/実践ビジネスマナー 来客応対・敬語		正確な文章、ねじれない文書内の問題を解く		
9・10	ガイド 第3章 実務技能/実践ビジネスマナー 名刺の受け渡し		社外文書の例を探す/ロールプレイ		
11・12	ガイド 第3章 実務技能/実践ビジネスマナー テスト練習		社外文書の例を探す/ロールプレイ		
13・14	期末テスト				
15	振り返り				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
試験結果50% 出席50% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			専門用語が多いため、分かりやすく説明することに加えて、プリント類の配布やサイトを活用して理解を定着させるように指導する。		
実務経験教員の経歴		外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり			

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	実践行動学Ⅱ				
担当教員	馬場秀憲	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	全科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	5
授業概要、目的、授業の進め方	1. 実践行動学Ⅰで学習した内容を踏まえ、1年間の振り返りを行う 2. 働くことへの意識を気付き→認識→一般化→応用という手法をとりいれ、個人作業・ディスカッションなどを通じて理解を深める				
学習目標 (到達目標)	社会人へでの準備→2年後の目標→ライフプランへと段階を経て、将来の自分を具現化させる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	実践行動学研究所 実践行動学				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	パート3 マジックドア1 入学から今日までの成長を実感する		個人作業・グループディスカッション		
2	パート3 マジックドア2 働く自分をイメージしてみよう		個人作業・グループディスカッション		
3	パート3 マジックドア3 自分が最大限に生きる働き方とは		個人作業・グループディスカッション		
4	パート3 マジックドア4 将来を描いてみよう		個人作業・グループディスカッション		
5	パート3 マジックドア5 夢実現への第一歩を踏み出そう		個人作業・グループディスカッション		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率80% 授業態度20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			就職直後、数年後、未来・・・の目標を描かせることで、ポジティブな気持ちを継続させる。		
実務経験教員の経歴	葬祭ディレクターとして8年間現場に携わった				

科目名		ホスピタリエ			
担当教員	高橋香織	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	全科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	20
授業概要、目的、 授業の進め方	1ホスピタリティを広めることができる人材になる				
学習目標 (到達目標)	ナレッジツリーのしくみを理解し、日常生活の中で知識教養が自然に身についていく生活習慣をつくる ホスピタリティ産業の中で、ホスピタリティがどのように活用され、あるいは活用されていないかを知り、実際のビジネスの現場について学びながら、自然にセカンドステップが発想できるようにトレーニングする。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	筆記用具				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	ホスピタリエが学ぶホスピタリティ	パワーポイント			
2	ホスピタリエとしてのホスピタリエの自己紹介	パワーポイント			
3	ホスピタリエの共感と同感の再確認と共感力コミュニケーション	パワーポイント			
4	知識を深めるナレッジツリー	パワーポイント			
5	ホスピタリエの教養講座①	パワーポイント			
6	ホスピタリエの教養講座②	パワーポイント			
7	ホスピタリエの教養講座③	パワーポイント			
8	ホスピタリエの教養講座④	パワーポイント			
9	ホスピタリエの教養講座⑤	パワーポイント			
10	ホスピタリエの教養講座⑥	パワーポイント			
11	ホスピタリエの共感レポート	パワーポイント			
12	自分のイヤ 自分以外の人のイヤ	パワーポイント			
13	料飲ビジネスとホスピタリティ	パワーポイント			
14	ホテルビジネスとホスピタリティ	パワーポイント			
15	ウエディングビジネスとホスピタリティ	パワーポイント			
16	フューネラルビジネスとホスピタリティ	パワーポイント			
17	医療ビジネスとホスピタリティ	パワーポイント			
18	航空ビジネスとホスピタリティ	パワーポイント			
19	ホスピタリエが考えるホスピタリティ産業	パワーポイント			
20	ホスピタリエの共感レポート	パワーポイント			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
出席率80%、授業姿勢20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		積極的な意見交換をする。 ホスピタリティを定着させる。			
実務経験教員の経歴	ドレススタイリストとして現場に10年間携わった。				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	ソフトウェア活用実習Ⅲ				
担当教員	武田奈々		実務授業の有無	×	
対象学科	全科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	35
授業概要、目的、授業の進め方	データ入力、表計算、グラフ作成、データベース検索のスキルを学び、E X C E L 検定初級を受検する。				
学習目標 (到達目標)	サーティファイ エクセル文書処理能力検定3級 合格				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	サーティファイ E X C E L 2019クイックマスター基本編 エクセル文書処理能力検定3級問題集				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1～3	エクセルの基本 データの編集 表の編集		実習		
4～6	ブックの印刷 グラフと図形の作成 ブックの利用と管理		実習		
7～9	関数 データベース機能		実習		
10～12	練習問題1		実習		
13～15	練習問題2 3		実習		
16～18	模擬問題1 2		実習		
19～21	模擬問題3 4		実習		
22～24	模擬問題5 6		実習		
25・26	模擬問題7 苦手箇所の練習		実習		
27～33	サンプル問題 事前対策		実習		
34・35	エクセル検定3級受検		実習		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率70% 学習意欲10% 検定合格20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			復習をメインに模擬問題を確実なものにすることで、検定合格に結びつく為、モチベーションをキープするよう考慮する。		
実務経験教員の経歴	バンケットキャプテン・アテンダント・音響・司会業務に13年関わる				

科目名		日常英会話 II			
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科	全科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	必須	単位数		時間数	25
授業概要、目的、 授業の進め方	<p>スタディサプリEnglishを利用し、自主学習でついた英語力を全体授業で確認していきます。 お客様とのコミュニケーションに英語は欠かせないため、英語力を強化します。 英語の問題を解くだけでなく、発話する力をつけるため一人ひとりの発話チェックの時間をもうけています。毎回、単語テストを行い習得状況を把握します。</p>				
学習目標 (到達目標)	英語での会話に緊張せず対応できる。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	スタディサプリEnglish				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1.2	オリエンテーション Unit1	スタディサプリEnglish・ロールプレイ・単語テスト			
3	Unit1 Lesson5 トレーニング1・2・4				
4	Unit2 Lesson10 トレーニング1・2・4				
5	Unit3 Lesson15 トレーニング1・2・4				
6	Unit4 Lesson20 トレーニング1・2・4				
7	Unit5 Lesson25 トレーニング1・2・4				
8	Unit6 Lesson30 トレーニング1・2・4				
9	Unit7 Lesson35 トレーニング1・2・4				
10	Unit8 Lesson40 トレーニング1・2・4				
11	テスト練習				
12・13	テスト				
14	振り返り				
15	Unit9 Lesson45 トレーニング1・2・4				
16	Unit10 Lesson50 トレーニング1・2・4				
17	Unit11 Lesson55 トレーニング1・2・4				
18	Unit12 Lesson60 トレーニング1・2・4				
19	Unit13 Lesson65 トレーニング1・2・4				
20	Unit14 Lesson70 トレーニング1・2・4				
21	Unit15 Lesson75 トレーニング1・2・4				
22	Unit16 Lesson80 トレーニング1・2・4				
23	テスト練習				
24	テスト				
25	振り返り				
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
授業態度40% 試験60% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		アプリを中心に学び、単語テストも適宜行う。			
実務経験教員の経歴	外資系ホテル勤務経験あり、英語講師経験あり				

科目名	葬儀概論Ⅱ				
担当教員	馬場秀憲	実務授業の有無	○	授業形態	遠隔と対面
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	2年生	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	90
授業概要、目的、授業の進め方	1、葬祭業についての基礎知識（歴史、宗教、葬送儀礼）を学ぶ。 2、テキストや検定の過去問題を使用し習得する				
学習目標（到達目標）	一人ひとりが目指す業界人の姿を表現できるようになる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	増補四訂葬儀概論 葬祭ディレクター技能審査過去問題集2023				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1 2	オリエンテーション 2年次の目標とスケジュールを知る		時間割・年間スケジュールを使用。		
3 4	葬祭ディレクター技能審査の内容知り、申し込みを行う		過去問題集を使用し、検定内容の把握や意識付け		
5~7	第1章 葬儀の意味		葬儀概論 P10~19		
8~17	第2章 葬儀の歴史		葬儀概論 P21~78		
18~23	第3章 死とその環境		葬儀概論 P81~P98		
24~33	第4章 葬儀の実際（復習）		葬儀概論 P100~P161		
34~43	第5章 葬儀の実際		葬儀概論 P164~P234		
44~47	第6章 社葬・団体葬		葬儀概論 P236~P250		
48~51	第7章 日本の宗教の概要		葬儀概論 P252~P262		
52~61	第8章 宗教儀礼		葬儀概論 P264~P307		
62~64	第9章 葬祭サービスと葬祭ディレクター		葬儀概論 P310~P324		
65~68	第10章 関連法規とその解説		葬儀概論 P328~P341		
69~70	過去問題（学科試験）に取り組む 2009		過去問題集を使用。		
71	過去問題（学科試験）に取り組む 2010		過去問題集を使用。		
72	過去問題（学科試験）に取り組む 2011		過去問題集を使用。		
73	過去問題（学科試験）に取り組む 2012		過去問題集を使用。		
74	過去問題（学科試験）に取り組む 2013		過去問題集を使用。		
75	過去問題（学科試験）に取り組む 2014		過去問題集を使用。		
76	過去問題（学科試験）に取り組む 2015		過去問題集を使用。		
77	過去問題（学科試験）に取り組む 2016		過去問題集を使用。		
78	過去問題（学科試験）に取り組む 2017		過去問題集を使用。		
79	過去問題（学科試験）に取り組む 2018		過去問題集を使用。		
80	過去問題（学科試験）に取り組む 2019		過去問題集を使用。		
81	過去問題（学科試験）に取り組む 2021		過去問題集を使用。		
82	過去問題（学科試験）に取り組む 2022		過去問題集を使用。		
83	オリジナル問題（歴史）に取り組む		オリジナル問題を使用。		
85	オリジナル問題（宗教）に取り組む		オリジナル問題を使用。		
87	オリジナル問題（法規税務）に取り組む		オリジナル問題を使用。		
88~89	実技筆記試験 過去問題（2015~2022）に取り組む		過去問題集を使用。		
90	2年間の振り返りレポート作成		レポート提出。		
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
授業態度50%、検定結果25%、学習意欲25%		検定対策。復習や予習、課題提出などでくり返し学習すること。			
成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
教員の経歴	葬祭ディレクターとして8年間現場に携わった				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名						葬祭ディレクター検定対策講座							
担当教員		馬場秀憲		実務授業の有無		○		授業形態		遠隔と対面			
対象学科		葬祭ディレクター		対象学年		2年生		開講時期		前期			
必修・選択		必修		単位数				時間数		45			
授業概要、目的、授業の進め方		1、検定に合格できる力をつける を用意し夏季休暇中も取り組みを継続する 連携し、検定本番を想定した練習を実施する										2、宿題 3、非常勤と	
学習目標 (到達目標)		検定合格											
テキスト・教材・参考図書・その他資料		増補四訂葬儀概論 葬祭ディレクター技能審査過去問題集2023											
回数	授業項目、内容					学習方法・準備学習・備考							
1	2	過去問題に取り組む～問題の傾向を知る					過去問題 学科2022～解説						
3	4	過去問題に取り組む～問題の傾向を知る					過去問題 学科2021～解説						
5	6	過去問題に取り組む～問題の傾向を知る					過去問題 学科2019～解説						
7	8	過去問題に取り組む～問題の傾向を知る					過去問題 学科2018～解説						
9	10	過去問題に取り組む～問題の傾向を知る					過去問題 学科2017～解説						
11	12	過去問題に取り組む～問題の傾向を知る					過去問題 学科2016～解説						
13	14	過去問題に取り組む～問題の傾向を知る					過去問題 学科2015～解説						
15	16	過去問題に取り組む～問題の傾向を知る					過去問題 学科2014～解説						
17	18	過去問題に取り組む～問題の傾向を知る					過去問題 学科2013～解説						
19	20	過去問題に取り組む～問題の傾向を知る					過去問題 学科2012～解説						
21	22	過去問題に取り組む～問題の傾向を知る					過去問題 学科2011～解説						
23	24	過去問題に取り組む～問題の傾向を知る					過去問題 学科2010～解説						
25	26	過去問題に取り組む～問題の傾向を知る					過去問題 実技筆記2022～解説						
27	28	過去問題に取り組む～問題の傾向を知る					過去問題 実技筆記2021～解説						
29	30	過去問題に取り組む～問題の傾向を知る					過去問題 実技筆記2019～解説						
31	32	実技試験対策					検定課題 幕張						
33	34	実技試験対策					検定課題 接遇・司会						
35	36	実技試験対策					検定課題 幕張						
37	38	実技試験対策					検定課題 接遇・司会						
39	40	実技試験対策					検定課題 幕張						
41	42	実技試験対策					検定課題 接遇・司会						
43	45	各自苦手な問題に取り組む											
評価方法・成績評価基準						履修上の注意							
授業態度20%、検定結果80% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						検定対策特別講義。通常授業だけでなく本番1週間前に行い、合格への意識付けや学びの時間とする。							
教員の経歴		葬祭ディレクターとして8年間現場に携わった											

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名		手話 II			
担当教員	NPO法人にいま～る	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	2年生	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	25
授業概要、目的、授業の進め方	1、手話の幅広い表現を身につける 2、思いやりの気持ちを育む				
学習目標 (到達目標)	表情や身振り手振りなど幅広い表現力を身につける				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ゼロから分かる手話入門				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1 2	1年生の振り返り		テキストと動画を使用。		
3 4	5 W1Hの使い方を学ぶ。		テキストと動画を使用。		
5 6	公共交通機関及び旅行で使われる日常会話の単語を学ぶ。		テキストと動画を使用。		
7 8	建物の単語、乗り物、食べ物の単語を学ぶ。		テキストと動画を使用。		
9 10	災害に関する単語を学ぶ。		テキストと動画を使用。		
11 12	交通機関に関する単語を学ぶ。		テキストと動画を使用。		
13 14	病院に関する単語を学ぶ。		テキストと動画を使用。		
15 16	郵便に関する単語を学ぶ。		テキストと動画を使用。		
17 18	銀行に関する単語を学ぶ。		テキストと動画を使用。		
19 20	都道府県に関する単語を学ぶ。		テキストと動画を使用。		
21 22	新しい言葉・単語を学ぶ。		テキストと動画を使用。		
23 24	確認テスト。		テキストと動画を使用。		
25	2年間の振り返り。		テキストと動画を使用。		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
授業態度80% 確認テスト20%			授業で学んだことを私生活でも生かせるように、積極的に取り組んでください。		
成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	手話教室と聴覚障害者の就労自立支援を10年以上行っている				

科目名	祭壇設営・幕張				
担当教員	馬場秀憲	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	2年生	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	25
授業概要、目的、授業の進め方	1、検定課題であるテーブル幕張の課題を覚え、実践できる 2、制限時間内に課題をクリアできる				
学習目標 (到達目標)	検定課題の合格				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	葬祭ディレクター技能審査過去問題集2023 ポンチ(葬儀用の幕)				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	1年生で学んだことを振り返る	過去問題集を使用。			
2	試験課題(テーブル装飾)の要点を理解する	検定の要項を見て確認する			
3	テーブル装飾のやり方を覚える	幕張の実習を行う・時間を意識する			
4	テーブル装飾のやり方を覚える	幕張の実習を行う・時間を意識する			
5	テーブル装飾のやり方を覚える	幕張の実習を行う・時間を意識する			
6	テーブル装飾のやり方を覚える	幕張の実習を行う・時間を意識する			
7	テーブル装飾の練習(タイムを計る)	幕張の実習を行う・時間を意識する			
8	テーブル装飾の練習(タイムを計る)	幕張の実習を行う・時間を意識する			
9	テーブル装飾の練習(タイムを計る)	幕張の実習を行う・時間を意識する			
10	テーブル装飾の練習(タイムを計る)	幕張の実習を行う・時間を意識する			
11	テーブル装飾練習(目標9分以内)	幕張の実習を行う・時間を意識する			
12	テーブル装飾練習(目標9分以内)	幕張の実習を行う・時間を意識する			
13	テーブル装飾練習(目標8分以内)	幕張の実習を行う・時間を意識する			
14	テーブル装飾練習(目標8分以内)	幕張の実習を行う・時間を意識する			
15	テーブル装飾練習(目標8分以内)	幕張の実習を行う・時間を意識する			
16	テーブル装飾練習(目標7分台以内)	幕張の実習を行う・時間を意識する			
17	テーブル装飾練習(目標7分台以内)	幕張の実習を行う・時間を意識する			
18	テーブル装飾練習(7分台)	幕張の実習を行う・時間を意識する			
19	テーブル装飾練習(7分台)	幕張の実習を行う・時間を意識する			
20	テーブル装飾練習(7分台)	幕張の実習を行う・時間を意識する			
21	テーブル装飾練習(7分台)	幕張の実習を行う・時間を意識する			
22	テーブル装飾(7分以内)	幕張の実習を行う・時間を意識する			
23	テーブル装飾(7分以内)	幕張の実習を行う・時間を意識する			
24	テーブル装飾(7分以内)	幕張の実習を行う・時間を意識する			
25	テーブル装飾(7分以内)	幕張の実習を行う・時間を意識する			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
授業態度20%、検定結果80% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		検定対策。自分で課題を見つけながら、苦手なところを修正していく。			
実務経験教員の経歴	葬祭ディレクターとして現場で10年以上携わった				

科目名		司会実習			
担当教員	豊栄セレモア株式会社	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	2年生	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	30
授業概要、目的、授業の進め方	1、検定課題である司会の課題を覚え、実践できる 2、制限時間内に課題をクリアできる				
学習目標 (到達目標)	検定課題の合格				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	増補四訂葬儀概論 葬祭ディレクター技能審査 過去問題集2023				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	授業の目的・内容の説明		過去問題集で説明。		
2	検定課題の司会のポイントや内容を覚える		検定の要項を見て確認する		
3	葬儀における司会の目的を知る		葬儀概論 P141～142		
4	葬儀における司会の役割を知る		葬儀概論 P143～144		
5	検定課題（司会）の例題を実際にやってみる		過去問題を使用。		
6～9	検定課題（司会）のセリフや流れを覚える		過去問題を使用。		
10	検定課題（司会）の過去問題2005年、平成14年を実施し問題に慣れる		過去問題を使用。		
11	検定課題（司会）の過去問題平成15年、16年を実施し問題に慣れる		過去問題を使用。		
12	検定課題（司会）の過去問題2005年を実施し問題に慣れる		過去問題を使用。		
13	検定課題（司会）の過去問題2009年、2010年を実施し問題に慣れる		過去問題を使用。		
14	検定課題（司会）の過去問題2006年、2007年を実施し問題に慣れる		過去問題を使用。		
15	過去問題の取り組み時間を計測する（自分のタイムを知る）		過去問題を使用。		
16	過去問題の取り組み時間を計測する（自分のタイムを知る）		過去問題を使用。		
17	過去問題の取り組み時間を計測する（自分のタイムを知る）		過去問題を使用。		
18	検定課題（司会）の過去問題2011年を実施し、4分以内で完成する		過去問題を使用。		
19	検定課題（司会）の過去問題2012年を実施し、4分以内で完成する		過去問題を使用。		
20	検定課題（司会）の過去問題2013年、オリジナル問題を実施し、4分以内で完成する		過去問題を使用。		
21	検定課題（司会）の過去問題2014年、オリジナル問題を実施し、4分以内で完成する		過去問題を使用。		
22	検定課題（司会）の過去問題2015年、オリジナル問題を実施し、4分以内で完成する		過去問題を使用。		
23	検定課題（司会）の過去問題2016年、オリジナル問題を実施し、4分以内で完成する		過去問題を使用。		
24	検定課題（司会）の過去問題2017年、オリジナル問題を実施し、4分以内で完成する		過去問題を使用。		
25	検定課題（司会）の過去問題2018年、オリジナル問題を実施し、4分以内で完成する		過去問題を使用。		
26	検定課題（司会）の過去問題2019年、オリジナル問題を実施し、4分以内で完成する		過去問題を使用。		
27	検定課題（司会）の過去問題2021年、オリジナル問題を実施し、4分以内で完成する		過去問題を使用。		
28	検定課題（司会）の過去問題2022年、オリジナル問題を実施し、4分以内で完成する		過去問題を使用。		
29	本番の雰囲気検定課題（司会）のオリジナル問題を実施し、本番のイメージを持つとともに4分以内で完成する		過去問題を使用。		
30	本番の雰囲気検定課題（接遇・司会）を続けて実施し、本番のイメージを持つとともに6分以内で完成する		過去問題を使用。		
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
授業態度20%、検定結果80% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		検定対策。自分なりの課題を見つけて、修正すること。			
実務経験教員の経歴	葬祭ディレクターとして現場で20年以上携わっている				

科目名	接遇・受注（受注施行）				
担当教員	豊栄セレモア株式会社	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	2年生	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	30
授業概要、目的、授業の進め方	1、検定課題である接遇の課題を覚え、実践できる 2、制限時間内に課題をクリアできる				
学習目標 (到達目標)	検定課題の合格				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	増補四訂葬儀概論 葬祭ディレクター技能審査 過去問題集2023				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	授業の目的・内容の説明	問題集を使用。			
2	検定課題の司会のポイントを知る	検定の要項を見て確認する			
3	接遇応対（電話での応対）を実践し、遺族と葬儀社のやり取りのイメージを持つ	葬儀概論 P105～P107			
4	接遇応対（病院・自宅での応答）を実践し、遺族と葬儀社のやり取りのイメージを持つ	葬儀概論 P107～P109			
5	接遇応対（病院・自宅での応答）を覚えて実践できる	レジュメを使用する			
6	接遇応対（遺体の搬送安置）を実践し、イメージを持つ	実習で学ぶ。			
7	家族葬と一般葬の違いを知る	葬儀概論 P72			
8	検定課題（接遇）の例題を実際にやって傾向を知る	過去問題集を使用			
9	検定課題（接遇）の過去問題（2008年）を実践する	過去問題集を使用			
10	検定課題（接遇）の過去問題（2009年）を実践する	過去問題集を使用			
11	検定課題（接遇）の過去問題（2010年）を実践する	過去問題集を使用			
12	検定課題（接遇）の過去問題（2011年）を実践する	過去問題集を使用			
13	検定課題（接遇）の過去問題（2012年）を実施し、2分以内で完了する	過去問題集を使用			
14	検定課題（接遇）の過去問題（2013年）を実施し、2分以内で完了する	過去問題集を使用			
15	検定課題（接遇）の過去問題（2014年）を実施し、2分以内で完了する	過去問題集を使用			
16	検定課題（接遇）の過去問題（2015年）を実施し、2分以内で完了する	過去問題集を使用			
17	検定課題（接遇・司会2016年）を通して実施し、本番の流れを覚える	過去問題集を使用			
18	検定課題（接遇・司会2017年）を通して実施し、本番の流れを覚える	過去問題集を使用			
19	検定課題（接遇・司会2018年）を通して実施し、本番の流れを覚える	過去問題集を使用			
20	検定課題（接遇・司会2019年）を通して実施し、本番の流れを覚える	過去問題集を使用			
21	検定課題（接遇・司会2021年）を通して実施し、本番の流れを覚える	過去問題集を使用			
22	検定課題（接遇・司会2022年）を通して実施し、本番の流れを覚える	過去問題集を使用			
23	検定課題（接遇・司会オリジナル）を通して実施し、本番の流れを覚える	過去問題集を使用			
24	検定課題（接遇・司会オリジナル）を通して実施し、本番の流れを覚える	過去問題集を使用			
25	検定課題（接遇・司会オリジナル）を通して実施し、本番の流れを覚える	過去問題集を使用			
26	検定課題（接遇・司会オリジナル）を通して実施し、本番の流れを覚える	過去問題集を使用			
27	過去問題（接遇・司会）を通して実施し、6分以内でできるように練習する	過去問題集を使用			
28	過去問題（接遇・司会）を通して実施し、6分以内でできるように練習する	過去問題集を使用			
29	過去問題（接遇・司会）を通して実施し、6分以内でできるように練習する	過去問題集を使用			
30	過去問題（接遇・司会）を通して実施し、6分以内でできるように練習する	過去問題集を使用			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
授業態度20%、検定結果80% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		検定対策。時間配分を意識しながら本番を想定した練習を行う。			
教員の経歴	葬祭ディレクターとして現場で20年以上携わっている				

科目名		公衆衛生学			
担当教員	有限会社花久葬祭	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	2年生	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	30
授業概要、目的、授業の進め方	1、ご遺体の変化や感染症について知る				
学習目標 (到達目標)	確認テスト				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	増補四訂葬儀概論 ほかにレジュメを作成				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1~2	なぜ葬儀従事者に遺体処置や納棺の知識が必要なのかを知る	テキスト+レジュメを使用。			
3	死化粧が遺族にもたらす影響を知る	テキスト+レジュメを使用。			
4	葬儀における湯灌・納棺の種類や目的を知る	テキスト+レジュメを使用。			
5	儀式としての湯灌・納棺の意味を知る	テキスト+レジュメを使用。			
6	副葬品について学ぶ	テキスト+レジュメを使用。			
7~8	湯灌・納棺の流れと口上を覚える	テキスト+レジュメを使用。			
9~10	死化粧(あざ消し、シミ消し)のやり方を学ぶ①	テキスト+レジュメを使用。			
11~12	死化粧(あざ消し・シミ消し)のやり方を学ぶ②	テキスト+レジュメを使用。			
13~14	死化粧(あざ消し、シミ消し)をやり方を覚える	テキスト+レジュメを使用。			
15~16	死化粧(あざ消し、シミ消し)を実践できる	テキスト+レジュメを使用。			
17	遺体の状況を知るための方法を学ぶ	テキスト+レジュメを使用。			
18~19	遺体の確認ポイントを知り覚える	テキスト+レジュメを使用。			
20	遺体の状態や変化を学ぶ①(変色について)	テキスト+レジュメを使用。			
21	遺体の状態や変化を学ぶ②(漏出、むくみ)	テキスト+レジュメを使用。			
22	遺体の状態や変化を学ぶ③(スキンスリップ、腐敗)	テキスト+レジュメを使用。			
23	遺体の状態や変化を学ぶ④(皮下気腫、ガス)	テキスト+レジュメを使用。			
24~25	看護行為に起因する遺体の悪化状況を知る	テキスト+レジュメを使用。			
26~27	遺体の処置の目的や方法を学ぶ①(出血、点滴痕)	テキスト+レジュメを使用。			
28~29	遺体の処置の目的や方法を学ぶ②(腐敗、損傷)	テキスト+レジュメを使用。			
30	確認テスト	テストを作成する。			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
授業態度20%、確認テスト80% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		文字だけでなく写真や実習などを組み合わせて、少しでも実際の現場が想像できるようにする。			
教員の経歴	葬祭ディレクターとして現場で10年以上携わっている				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	納棺師				
担当教員	あかり	実務授業の有無	○	授業形態	対面のみ
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	2年生	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	25
授業概要、目的、授業の進め方	1、ご遺体の処置（死装束）への着せ替えを覚える				
学習目標 (到達目標)	一人で着せ替えができるようになる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	増補四訂葬儀概論				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1・2	オリエンテーション（授業の目的を知る）～死化粧の目的を覚える	実習で学ぶ。			
3～5	死化粧を実践し、やり方を覚える（ペアになってお互いにメイク）	実習で学ぶ。			
6～8	死化粧を実践し、やり方を覚える（ペアになってお互いにメイク）	実習で学ぶ。			
9～11	死化粧を実践し、やり方を覚える（ペアになってお互いにメイク）	実習で学ぶ。			
12～23	着せ替えの仕方を実践で覚える	実習で学ぶ。			
24～25	確認テスト（一人で着せ替えを行う）	実習で学ぶ。			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
授業態度20%、確認テスト80% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		着せ替えやメイクの実習を行うため、授業時の服装などにも注意が必要。			
教員の経歴	納棺師として現場で10年以上携わっている				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	葬祭フラワーⅡ				
担当教員	坂上久美子	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	2年生	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	15
授業概要、目的、授業の進め方	1、フラワーアレンジメントの基礎知識を学び、墓花や仏花・祭壇生花の設営の仕方を実践で学ぶ。				
学習目標 (到達目標)	祭壇生花のデザインを考え、実際に飾ってみる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	生花を使用して実習で学ぶ。予算を決める。				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1～4	生花のアレンジを作成する	実習で学ぶ。			
5～8	法要の筒花を作成する	実習で学ぶ。			
9～15	菊と生花で祭壇を制作（全員で1つの祭壇を作る）	実習で学ぶ。			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
授業態度100% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		生花の扱い方を身につけさせる。			
生花店を経営して15年以上携わっている					

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	葬祭マーケティング論				
担当教員	(株)花安新発田斎場	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	2年生	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	30
授業概要、目的、授業の進め方	1、マーケティングの基本概念や考え方を学ぶ。 2、葬祭業界の歴史や変遷を知る 3、プレゼンテーション・ディスカッションを通して問題の発見・解決する能力を身につける				
学習目標 (到達目標)	相手に伝わるように、自分の意見が発表できるようになる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	レジュメを使用。				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1 2	オリエンテーション～授業の目的を知る	レジュメを使用。			
3 4	マーケティングの概念を知る	事前にパワポで資料作成～授業時プレゼンテーションを実施する			
5 6	マーケティングの差別化について知る	事前にパワポで資料作成～授業時プレゼンテーションを実施する			
7 8	4つのステップについて①細分化	事前にパワポで資料作成～授業時プレゼンテーションを実施する			
9 10	4つのステップについて②ターゲットの特化	事前にパワポで資料作成～授業時プレゼンテーションを実施する			
11 12	4つのステップについて③マーケティングミックス	事前にパワポで資料作成～授業時プレゼンテーションを実施する			
13 14	4つのステップについて④検証と学習	事前にパワポで資料作成～授業時プレゼンテーションを実施する			
15 16	製品ライフサイクルの考え方を知る	事前にパワポで資料作成～授業時プレゼンテーションを実施する			
17 18	葬祭業におけるライフサイクルを知る	事前にパワポで資料作成～授業時プレゼンテーションを実施する			
19 20	ブランドづくりについて知る	事前にパワポで資料作成～授業時プレゼンテーションを実施する			
21 22	葬祭業におけるブランドを知る	事前にパワポで資料作成～授業時プレゼンテーションを実施する			
23 24	葬祭事業者の種類について知る	事前にパワポで資料作成～授業時プレゼンテーションを実施する			
25 26	葬祭事業者のそれぞれの取り組みを知る	事前にパワポで資料作成～授業時プレゼンテーションを実施する			
27 28	顧客との長期的なつながりをつくる事例を知る	事前にパワポで資料作成～授業時プレゼンテーションを実施する			
29 30	レポート発表	レポート提出。			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
ディスカッションへの貢献度30% 課題発表提出40% 最終レポート30% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		毎回の授業までに資料を作成し、授業当日は発表できるように準備を行うこと。			
実務経験教員の経歴	江戸時代より、地元に着した葬儀社を経営。				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	グリーフケアⅡ				
担当教員	小林伸子	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	2年生	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	10
授業概要、目的、授業の進め方	1、死を迎えるまでの本人や家族の心理を知る。 2、グリーフにある人との向き合い方や接し方を身につける。				
学習目標 (到達目標)	グリーフに関する知識を身につける				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	レジュメを作成。				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1 2	オリエンテーション～「グリーフ」とは何かを学ぶ	レジュメを使用。			
3 4	病院でのエンゼルケア～看取りについて学ぶ	レジュメを使用。			
5 6	大人と子供のグリーフの違いについて学ぶ	レジュメを使用。			
7 8	グリーフの体験者同士のつながりを学ぶ。	レジュメを使用。			
9 10	最終レポート作成	レジュメを使用。			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
授業態度50% 最終レポート50% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		授業の目的を理解し、自分だったらと想像しながら取り組んでください。			
実務経験教員の経歴	看護師としてホスピスに20年間勤務。				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	営業力（営業力強化検定）				
担当教員	馬場秀憲	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	2年生	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数		時間数	30
授業概要、目的、授業の進め方	1、営業業務の基本的な知識を身につける 2、営業業務の技術を学ぶ。				
学習目標 (到達目標)	営業力強化検定に合格する				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	売れる営業のABC				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1~2	オリエンテーション～営業とは何か		テキストとパワーポイントを使用。		
3~4	商品知識		テキストとパワーポイントを使用。		
5~6	マーケティング		テキストとパワーポイントを使用。		
7~8	顧客の購買心理		テキストとパワーポイントを使用。		
9~10	顧客ニーズ		テキストとパワーポイントを使用。		
11~12	ビジネスマナーとセールスマナー		テキストとパワーポイントを使用。		
13~14	営業プロセス①		テキストとパワーポイントを使用。		
15~16	営業プロセス②		テキストとパワーポイントを使用。		
17~18	コミュニケーション能力		テキストとパワーポイントを使用。		
19~20	提案書作成		テキストとパワーポイントを使用。		
21~22	販売促進		テキストとパワーポイントを使用。		
23~24	クレームと情報管理		テキストとパワーポイントを使用。		
25~26	過去問題の取り組み①		過去問題を使用。		
27~28	過去問題の取り組み②		過去問題を使用。		
29~30	確認テスト		テストを作成する。		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出欠席100% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			営業の仕事を学ぶことで、葬祭業界に限らず社会で活かせる力をつけさせる。		
実務経験教員の経歴	葬祭ディレクターとして現場に8年間携わった。				

科目名		イベントプロデュースII			
担当教員	馬場秀憲	実務授業の有無	○	授業形態	遠隔と対面
対象学科	葬祭ディレクター科	対象学年	2年生	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	170
授業概要、目的、授業の進め方	1、企業向け企画発表会を実施し、大人の意見をもらう場を設ける 2、企業連携イベントの実施（業界の課題や現在の取り組みを知り、業界発展の企画を実施する）				
学習目標 (到達目標)	卒業制作発表会で葬祭分野の発表を行う。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	増補四訂葬儀概論ほかレジュメを作成。				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1~6	オリエンテーション～イベント内容を知る	レジュメを使用。			
7~22	現状調査	パソコンなどを使用。			
23~32	企画発表会の企画内容を考える	グループに分かれて現状を調査する。			
33~42	企画発表の台本作成	パソコンを使用。			
43~48	台本仮完成・PP作成	パソコン（ワード、パワーポイント）を使用。			
49~58	リハーサル	本番を想定して、身だしなみを整える			
59~64	企画発表会	不足の事態を想像しながら、周りと連携する			
65~66	振り返り～お礼状送付	レポート提出。			
67~82	アンケート内容などから企画の見直し・修正	グループに分かれて現状を調査する。			
83~92	企画書作成	パソコンを使用。			
93~96	企画書 仮完成	パソコンを使用。			
97~106	シナリオ、台本	パソコンを使用。			
107~122	企画書修正	パソコンを使用。			
123~128	企画書完成	パソコンを使用。			
129~143	シナリオ、台本、パワポ、ペーパー完成	パソコンを使用。			
144~158	プレゼンテーション練習	本番を想定して、身だしなみを整える			
159~166	プレゼンテーション本番	不足の事態を想像しながら、周りと連携する			
167~170	振り返り～お礼状送付	レポート提出。			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
授業態度100% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		大人に聞いてもらうために、言葉遣いや身だしなみなど基本的なことから気を付ける。全員が関わるような仕組みを考え、達成感を感じさせる。			
教員の経歴	葬祭ディレクターとして8年間現場に携わった				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名		卒業制作			
担当教員	馬場秀憲	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	全科	対象学年	卒年次生	開講時期	通年
必修・選択	選択	単位数		時間数	50
授業概要、目的、授業の進め方	業界が持つ、課題等を見つけ、それに対する企画を考え、提案していく。 イベントを通して、学年全体のつながりや、プランニング力、プレゼン力、チームワークなど実践を通して身につけ、イベントを実施する				
学習目標 (到達目標)	卒業制作発表会で、保護者や企業に発表する				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	プリント教材				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1~2	動機付け、発表の内容、スケジュールについて	プリント			
3~4	グループにてスケジュール確認、発表内容と報告書の作成	プリント			
5~6	企業や団体などをリストアップし、現状や取り組みについてのアンケートや調査を行う	グループワーク			
7~10	スケジュールや進め方（新グループ、メンバー）を全体で共有する				
11~12	各グループは報告書完成させる。当日の会場装飾の準備を始める 実行委員は招待客のリストを作成する				
13~16	当日の発表に必要な台本+パワポを作成する				
17~18	当日の会場で、本番のイメージをつかむ				
19~22	台本+パワポの修正。完成。				
23~24	台本見ながら全体リハーサルを行い、他のグループ発表を聞いて、卒制全体のイメージをつかむ				
25~28	全体リハーサルの準備を始める（台本とパワポのタイミングを合わせる）				
29~32	企業の方に企画や発表を見ていただき、内容をより精査する 全体リハーサルの準備を行う（前後のつながりを考える）				
33~34	全体リハーサルを行い、卒制全体の流れを一人ひとりがつかむ				
35~36	全体リハーサルの準備を行う（聞いている人に伝わる話し方を意識しよう）				
37~40	全体リハーサル→振り返り、修正				
41~44	前日リハーサル→振り返り、修正				
45~48	企業、保護者本番				
49~50	振り返り（個人シート、グループ、実行委員他）	↓			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
卒制実施30%、出席率40%、学習意欲（授業態度）30% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・F(59点以下)とする。※F評価者は追試合格後、D評価となる。		業界の現状を調査し、課題を見つけ、それに対する提案を考えていきます。学生ならではの視点を重視し、実現可能かどうかも含めて、大人の意見を聞きながら進めていきます。自分たちの考えをまとめ、発信し、業界をよりよくするための発表を行います。			
実務経験教員の経歴	葬祭ディレクターとして8年間現場に携わった				